

# 1月 1(木) サムエルとダビデのように 先に立って進みましょう

みことば サムエルは油の角を取り、兄弟たちの真中で彼に油をそそいだ。  
I サムエル 16:13 主の霊がその日以来、ダビデの上に激しく下った。サムエルは立ち上がってラマへ帰った。

「さあ、この者に油を注ぎ、この者がそれだ。」神様は、預言者サムエルをエッセイの家に送られました。人の中心をご覧になる神様は、エッセイの7人の息子の中で、特別にダビデに油を注がれました。それで、ダビデは、将来にイスラエルの王になる大きなビジョンをにぎって先に立って進んだのです。

## 1. 神様の恵みをさとれば、先に立つことができます

私の熱心と力で、神を求めて行くことを宗教と言います。しかし、福音は、唯一な神様が選ばれた者を救われるのです。神様はサムエルを\*ナジル人として呼ばれました。また、神様の心にぴったり合うダビデを祝福されました。同じように、私はなにかをしてイエス様を信じたのではありません。神様の恵みで救われたのです。

## 2. 祈りの奥義を味わって、先に立って進みます

今、どんな祈りの答えを受けていますか。小さいときから、サムエルとダビデは、もっとも幸せで喜んで祈りができました。サムエルの祈りは、一言も地に落ちないで、すべて答えられました。ダビデも羊を飼ったり、一人でいる時、定刻礼拝、定刻祈り、伝道祈りの奥義をいつも味わっていました。

## 3. 時代を見る目を開いて、先に立って進みます

強い偶像の国ペリシテが、イスラエルを攻撃しました。福音がとぎれた時代を見たサムエルとダビデは、主なる神様の御名を全世界に伝えながら、偶像崇拝者と戦いました。特に、ダビデは、契約の箱の重要性を知って、契約の箱を置く神殿の準備をしました。このように、レムナントも、時代を生かす信仰を準備して、まことの答えを受けながら先に立って行きましょう。

\*ナジル人: 神様に献身するために特別に呼ばれた人

### 神様に お願いいたします

私を呼んでくださって、当然で、かならず必要な、だれも防ぐことができない絶対的な福音を味わうように祝福してくださって、本当にありがとうございます。サムエルとダビデのように、まことの答えを受けて、時代を生かすレムナントにならせてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



# 2009 年 じんせいきかく 人生企画ではじめましょう

○ 2009 年 3つの祈りの課題 いの くだい

○ 2009 年 じんせいきかく 人生企画

いの きかく  
 < 祈り企画 >

うんどうきかく  
 < 運動企画 >

べんきょうきかく  
 < 勉強企画 >

でんどうきかく  
 < 伝道企画 >

けんきんきかく  
 < 献金企画 >

私の れきし 歴史 きろく 記録




---



---



---

れいてき きりつ

# 靈的な規律をそなえましょう！

れいこくわい せいごう

定刻礼拝に成功した日にだけシールをはりましょう



1月  
2(金)

# キリスト、神の国

## せいれい み 聖霊の満たし

みことば テオピロよ。私は前の書で、イエスが行ない始め、教え始められた  
使徒 1:1, 3, 8 すべてのことについて書き、

成功した人々には、特徴があります。まず始めることと、急いすべきこと、そして、いつもしなければならぬことを、きちんと区別して処理します。ところで、世界の教会が大きな危機に  
あっているのは、かならず伝えなければならぬ福音をのがしているためです。このときに、ど  
のようにすれば、レムナントは信仰生活を成功させることができるのでしょうか。

### 1. まずキリストの契約ではじめましょう

どんな事でも、正しいはじまりが重要で、はじめのボタンをまちがってかければ、残りのボタンも  
みなまちがってかけるようになります。まずイエス様が私のキリストであることを信じて告白しまし  
ょう。そして、聖霊様が私とともにおられるという神様の子ども身分と權威も、いつも味わいまし  
ょう。これからいつでも祈れば、何でも答えられる神様の子どもプライドを持ってはじめましょう。

### 2. 急いで神の国を建設しましょう

重要な決定をする時は、かならず聖霊の導きを受けなければなりません。私だけうまくいこうとす  
るあやまった動機と欲をなくして、神様のみことばをにぎって祈りましょう。そうすれば「ただ福音  
だけにぎったら、すべての問題が解決された」という事実、証人になります。こういう証人を持った  
レムナントが行く所ごとに神の国が建設されます。

### 3. いつも聖霊の満たしを味わいましょう

「勉強をよくしたいのに、大変です」「伝道しようとするけれど、はずかしいです」他の友だちも私  
と同じ悩みを持っています。そのたびに、神様の力を受ける聖霊の満たしを味わいましょう。神様だ  
け見上げる静かな時間を持ってみましょう。大きいこと、小さいことを、すべてつなげて、現場にふ  
さわしいように伝道を計画しましょう。そうすれば、大小の答えに、本当に感謝することができます。

神様に お願いいたします

後悔する人生にならないように、神様の子ども身分と權威を味わわせてください。聖霊に導かれて、いつも聖霊の満たしを味わわせてください。神様があたえられるまことの力と答えを受けるレム  
ナント( )になるように、働いてください。イエス・キリストのお名前によってお  
祈りします。アーメン

1月  
3 (土)

おはなし黙想

## 先生と私

使徒 19:21 これらのことが一段落すると、パウロは御霊の示しにより、マケドニヤとアカヤを通ったあとでエルサレムに行くことにした。そして、「私はそこに行ってから、ローマも見なければならぬ。」と言った。

### パチパチ

先生がウインクで目くばせした。メグも、パチパチと答えて送った。メグと先生がこのように信号を送るようになってから1年ほどになる。

2008年3月3日。田舎の学校に転校してきたメグは、新しい先生と新しい友だちに会うと考えると、胸がドキドキしていた。

ガラガラガラ。ドアが開く音がした。古い学校にふさわしく、ドアは前に開くのではなく、横に開いたのだ。ドアを入ってくる先生のおでこには、すでに川の字が書かれていた。かたく閉じられていた口が開いて、子どもたちの名前が呼ばれた。

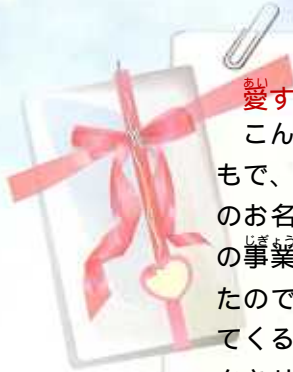
先生は、ソウルの学校の先生とは違う部分があった。きびしく見えたが、子どもたちをけってなぐったり、しかりつけることもなかった。休み時間に、ドタバタして、ドンドン飛び回ってさわいでも、先生はただ窓の外を見ているだけだった。メグは、こういう先生のうしろ姿が本当にさびしく見えた。

「うしろ姿がさびしく見える私の先生のために祈らなくちゃ。先生も私のようにイエス様を信じれば、明るく笑うでしょう。」

その日から、メグは朝には「子どもの祈りの手帳」を見て、お昼の時は伝道対象者の名前を見ながら、寝る前には明日のスケジュールを点検しながら先生のために祈った。

そのようなある日、メグは先生に勇気をもって手紙を書くことにした。





### 愛する先生へ

こんにちは、先生！ 私は田中メグです。私は神様の子どもで、とても幸せです。どんな困難も、問題も、イエス様のお名前（いの）で祈れば、みんな解決（かいげつ）します。ずっと前に、パパの事業（じぎょう）がすごくだめになって、今の学校に来ることになったのですが、私はがっかりしませんでした。聖書（せいしょ）の中に出てくるヨセフは、奴隷（やつらい）で売られて行ったり、くやしい濡れ衣（ぬれぎぬ）をきせられて、監獄（かんごく）に行ったりもしましたが、神様とともにおられる奥義（おくぎ）を味わって、いつも幸せ（しあわせ）だったのです。それで、私もヨセフのように、その幸せ（しあわせ）を味わいます。そして、パパがこの前に洗礼（せんれい）を受けて執事（しやくじ）になって、本当にうれしいです。先生も私のように幸せ（しあわせ）でうれしい神様（かみさま）の子どもになったらいいですね。それでプレゼントを準備（じゅんび）しました。開けてみてください。

田中メグより

メグは、あらかじめ包んでおいた伝道資料（でんどうしりょう）の中に手紙（てがみ）をそっと入れた。

数日後、先生はそうじを終えて家に帰ろうとするメグを呼んだ。そして「メグ、先生には、とても大きい悲しみ（かなしみ）があるの。息子（むすこ）が大きな病（びょう）気で。死ぬかもしれない…。ひょっとして、この問題（もんだい）もイエス様のお名前（いの）で祈れば、解決（かいげつ）できるの? 」と言った。メグは大きくうなずいた。

その次の日、教会の伝道師（でんどうし）先生（せんせい）が、先生（せんせい）を訪ねてきた。先生（せんせい）は、伝道師（でんどうし）先生（せんせい）の前（まえ）で涙（なみだ）を流（なが）していた。その日から後、メグと先生（せんせい）は、パチパチ信号（しんごう）を送るようになったのだ。その信号（しんごう）は「今日は、タラップンの日（ひ）です。あとで会いましょう」という意味（いみ）だった。明るく笑いながら、黒板（こくばん）の前に立（た）っている先生（せんせい）の姿（すがた）をながめながら、メグは、自分を伝道者（でんどうし）として呼（よ）ばれた神様（かみさま）に感謝（かんしゃ）した。



### インマヌエルとともに味わう幸せ

最初（さいしょ）に朝（あ）の時間（じかん）「子どもの祈（いの）りの手帳（てちょう）」を持って神様（かみさま）に大きい力（ちから）を受ける定刻（ていこく）礼拝（らいはい）をはじめよう

二つ目、昼休（ひるやす）み、学校（がっこう）の現場（げんじょう）で短（みじ）く、伝道（でんどう）したい友（とも）だちのために祈（いの）ろう

三つ目、寝（ね）る前に、明日（あす）のスケジュール（スケジュール）を考え（かんが）えながら祈（いの）ろう